

# ララ物資ありがとう



ララ倉庫御巡視の両陛下  
— 1949年10月19日 ララ物資日本倉庫にて —

仲よしの アメリカの  
お友だちさん

ララのおくりもの たくさん ありがとう。  
僕らは ちょうど クリスマス・イブに 寮母さん から わけていただき  
ました。僕の 家は 父の いない さま  
しい家です。みなさんの 心のこもった  
おくりものは 小さな妹(三才) 弟(六  
才) 妹(九才) と 僕(十二才) の四人  
おくりものを かこんで よろこびの  
声を あげました。ありがとうごさ  
いまし  
た。  
らんと べんきよらして みなさん  
の やさしい 心にむくいたい と おも  
つ  
てい  
ます。  
どうぞ いつまでも 仲よし で おね  
が  
い  
し  
ま  
す。  
弟は 来年度です いただいた靴を  
はいて 入学すると たのしんでいま  
す。  
仲よし の アメリカのお友だちさん  
さ  
さ  
よ  
う  
な  
ら  
。ほ  
く  
の  
母、  
弟  
妹  
も  
よ  
ろ  
し  
く  
申  
し  
ま  
し  
た。  
さ  
さ  
よ  
な  
ら  
。さ  
さ  
よ  
な  
ら  
。  
十二月二十六日  
長野市 荒屋 美和莊  
塚田 武男



ララに感謝の集い

— お 謙 さ ま を 飾 っ て —  
(ララ物資中央委員会宛)  
秋深くお寒さ日に加わる候思  
いがけなくも此度初めて衣類の  
御恵賜にあずかりたる者で御座  
います御志のほど感謝に堪えざ  
る次第誠に嬉しく存じます。  
私共 戦災盗難主人かえらぬ身  
となり次ぎく不幸重なる上に  
十五才頭の下乳児一才七人の子  
供を抱え全く此の世の地獄とは  
此の如しと云う現実生活をいた  
しております。  
夏物衣類のお恵みながら夏冬  
物にかゝりません。早速子供  
達の身に附け度只今織物に取急  
いでおります。  
まずは乱筆ながら御厚礼まで  
一言申上りました。かしこ  
十一月六日 藤森 春江

早速子供たちの  
身につけて

## 国民感謝の決議

(1)一九四七年八月三十一日 衆議院での感謝決議文  
米國に於ける亞細亞救済公認團體が米國人の厚意と同情との贈物  
たる、食糧、衣料、医薬品等我が國生活困窮者救済の爲め寄贈さ  
れて居ることは輸入食糧の放出と共に全國民の感謝感激に堪えな  
い所である。今や此の物資は遍く全國民の生活に配分され終  
戦以來急激に増加した貧困者や結核療養者療養者等幾多薄俸の  
我が同胞はこの恩恵に浴し日々感謝の生活を遂るに至つたのであ  
る。それは國境を越えた崇高なる人類愛の具象化であり、その温  
き厚意によつて日常生活に喘ぐ困窮者も必ずや感奮更生し平和日  
本建設の礎を築くものと確信する次第である。ここに衆議院は特  
に院議を以て亞細亞救済公認團體に対し深甚なる感謝の意を表す  
るものである。

(2)一九四八年一月二十九日 衆議院での感謝決議文  
終戦以來在米洲同胞から平和的民主國家の再建を念としつゝ耐乏  
の生活を續けている内地の同胞に多大の救済物資が贈られた。右  
物資は亞細亞救済公認團體(ララ)を通じて又はその他の方法によ  
つて送付せられ幾多不幸なわが同胞の生活を潤おしわが國民を心  
から感激させた。ここに衆議院は特に院議を以て在米洲同胞に対  
し深厚な感謝の意を表するものである。

(3)一九四九年四月二十八日 衆議院での感謝決議文  
終戦以來ララ物資、ケヤ物資、救済小包その他各種の形式に依り  
ハワイ並に北南米在留同胞及び日系市民の我々に示された援助は  
莫大な数量に上り眞に感謝に耐えない所である。これ等の好意が  
如何に我々の慰藉と激励となつたかは今更言う迄もない。衆議院  
はここに院議を以て之等在外同胞並に日系市民に深甚なる感謝  
の意を表する。

## 感謝の言葉

ララ物資を送つて下さるアメリ  
カの皆さまありがとうございま  
す。  
私達はしゅうせんご衣食にひじ  
ょうに不足していましたが、し  
ゅうせんごすぐ教多くの食糧又  
はいるいをすぐおくつていただ  
いたおかげであんまりひもじ  
い思ひもせず、又寒い思ひもせ  
ず、幸福にくらしているのもラ  
ラ物資の大きなおかげです。  
お父さんやお母さんがいなくて  
も私達のきもちはいかに明る  
くなつて來ます。  
今ではそのために道でアメリカ  
の兵隊さんにあつた道でなく  
ありがたく又親しみ深く感じま  
す。又ララ山羊を送つて下さつ  
たおかげで新せん山羊の乳も  
のめ又山羊の子とも遊ばれとて  
もたのしい日々がおくれます。  
さいごにララの皆さまのけんこ  
うをいのつてふでおきます。  
鳥根縣新川書院  
山崎 勇(十三才)



ララ倉庫をご覽の両陛下 (1949年10月19日)



感謝の心一杯で

アメリカにお住いの皆様。数々の贈り物有難うございました。戦争で家を焼き親兄弟を失った孤兒や老人たちの多い日本では、災難の比較的少なかつた者の協力と政府の力とで乏しい物資や精神上的の保護が加えられましたが、これら社会事業の運動と努力とに、力強い援助の手を差し伸べて下さつたのはララを通じてのあなた方の真心こもる贈り物でした。この贈り物は1946年から絶える事なく続けて下さいました。丁度今年で満3年です。見る影もなく瘦せ細つていた孤兒や失望と饑餓の底にあえていた老人たちがこの三年の間、どの様に皆様への感謝に生き、いかに成長し、恢復の日の希望をつたいているかをお知らせするだけが今は精一杯のお禮の言葉です。皆さん！どうぞ見て下さい。三年前の彼等の悲しい憐れた様子と、今のこの喜びの表情との違いを。そして身を以て彼等の更生を祈られる我等の象徴、天皇皇后両陛下の安否と感謝のお顔を。

この三年間、皆様からはこの様に澤山の食糧や衣料が届きました。それは夫々、最も公平な方法で茲に挙げた種々の施設や学校を通じて彼等に分配されています。彼等はやがて自力で立ち上り更生の道へと進む事でしょう。日本には物資不足と生産難による茨の道は深まっています。彼等の生活苦はまだまだ続くでしょう。併し彼等は生き生きと育つ事と思います。その体力と貴い人類愛の心の糧を與えて下さつた皆様への感謝を籠めて――。

受ける物と貰う人

1946年11月から1949年11月迄、ララから届いた救援物資

食糧	7,929 噸
衣料	1,849 "
医薬品	25 "
その他	653 "
合計	10,456 "
山羊	1,968 頭
乳牛	45 "

これらの貴い物資はララ中央委員会で決定された方針に従い、国籍、宗教、政治に関係なく、最も困窮し急を要する人達から先に、政府が各地方廳を経て確実に分配します。その配分状況は次の通りです。

配分先	人数	物資の種類			備考
		食糧	衣料	石鹼	
1. 社会事業施設	281,800人	7,866,712.680 封度	13,788 梱	88,516 封度	(1)
2. 国立病院・療養所	49,400	1,311,532.010		6,610	(2)
3. 痲療養所	8,600	259,722.500	403	11,217	
4. 学校関係		4,662,287.875	2,381	115	
5. 災害地		704,250.930	2,249	31,988	
6. 一般生活困窮者			9,859		
7. その他		126,838.500	1,855		
合計		14,931,344.495 封度	30,535 梱	138,416 封度	

\* 備考 その他原反 (922,092.625ヤード)、原綿 (1,006梱)、靴 (751梱と 207,682足)、医薬品、ハンドバッグ、糸、ローソク等を配分しました。  
又備考欄中 (1) は不遇な乳幼兒、結核患者、老人等の收容所で (2) と共に日本全国へ繼續して配分されます。



↑うれしい うれしい お乳の罐!



↑ララのお洋服貰う みよ子ちゃん。老いの眼に涙をかべて……… ↓



↑不幸な日の孤兒たち。  
ララの山羊と遊ぶ保育所の子供たち。 ↓



↓施設の神父に抱かれて………



↑ララ衣料を渡される罹災者。

